

NEC田んぼ作りプロジェクト（上太田）レポート VOL. 47

4/26：達人コース 5/6：達人コース

5/25：達人コース 5/31：田植えイベント

2014年 月 日

- 4月26日（金）参加者：12名・・・活動内容：トキのえさ量調査、AとCの間の畦拡張、ア田んぼ田起し、達人田んぼ拡張（除根、畦作り・代掻き）
- 5月6日（火・祝）参加者：18名・・・活動内容：トキのえさ量調査、横田農場にて種まき、イ・ウ田んぼ田起し、ため池の泥上げ
- 5月25日（日）参加者：7名・・・活動内容：トキのえさ量調査、達人田んぼ田植え（マングツモチ）、ア・ウ田んぼ代掻き、畦修復、E田んぼ除草
- 5月31日（土）参加者：102名・・・活動内容：田植え（日本晴れ）



2014. 4. 26 畦の拡張・田起こしを行いました！



5月末に行う田植えに100名ほどの参加者が予想されていたため、たくさんの人が通っても頑丈な畦にしようと、A田んぼとC田んぼの間の畦の拡張をしました。



土をどんどん運びいれ、
乗って固めての繰り返しです！



完成！

畦作りには多くの土が必要だということにびっくり！山ほどあった土があつという間になりました。できれば他の畦も拡張したかったのですが、土が足りませんでした。この日は、ア田んぼの田起こしも行いました。



人力で
田起し！



がんばって働いた後は、美味しいお昼ご飯＊



GW初日ということで、
へっついでご飯を炊き
B B Qの台で魚を焼いちゃい
ました！

おいしいね！



お腹が満たされたあとは、もうひとがんばり☆
前回の達人コースに引き続き、達人田んぼの拡張作業
です。まだまだある根っこを取り除きます。さらに畦
作りと田植えに向けての代掻き！



＊代掻き完了＊

これで準備はばっちりです。後は田植えの日を待つばかり。
今年はどんな風にお米が育っていくのでしょうか。

今回の達人コースの中での発見をご紹介します！

◎サトウニシキ（さくらんぼ）の花が咲きました！



◎たくさんのホソミオツネントンボ！何匹いるでしょう？





←イトトンボはホソミオツネンが圧倒的に多かったです。
 ホソミオツネントンボは谷津田の周りの森で冬を越します。このトンボが増えたのは、森の整備が進んだ証拠です！
 たくさんトンボが飛び始め、草花が咲き始めた上太田の田んぼはすっかり春ですね♡
 これからますます賑やかになっていきますよ！

さて、今回のトキの餌量調査のご報告です。

トキのえさ量調査 目標値は1㎡あたり4g

最終目標であるトキがこの谷津田で生息していくために

必要な年間摂食量は75kgとされているため、上太田の谷津田全体(23,000㎡)が再生されたときに必要な生物量は、1㎡あたり3.2gとなり、目標値が4gと定めています。今回1㎡あたりでは、約3gなので目標値まではもう少し！

ここで再生されている水田の耕作面積は2,500㎡なので、上太田の谷津田における生物量の総計は9,750gと算出されます。達成率は約13%です。これからもたくさんの生きものたちと一緒にお米作りを行いつつ、再生面積を拡大していき、トキが飛んできてくれるような素敵な谷津田にしていきたいです。

田んぼの場所	Aたんぼ	Dたんぼ	ウたんぼ	アたんぼ	平均重量
マメガムシ		15匹	2匹	1匹	0.013g
ユスリカの幼虫	42匹		22匹	8匹	0.008g
イトミミズ	5匹	36匹			0.040g
ミズムシ			4匹		0.018g
ミズムシ小	3匹				0.007g
ゲンゴロウの幼虫	2匹				0.051g
ザリガニ 小				31匹	0.330g
エラミミズ			4匹		未測定
各田んぼの合計生物量	0.638g	1.635g	0.274g	10.328g	
今回の調査の平均値	3.2188g/㎡				

2014. 5. 6 横田農場にて種まきを行いました！

5月6日は、横田農場 (<http://www.yokotanojo.co.jp/>) にて、日本晴れの種まきを行いました！



いえいえ、もちろん機械ではなく手で蒔きます！

初めに、工場内にあった機械での種まきの様子を見学させて頂きました。自動的に土が入れられ、水がまかれ、種が均一に蒔かれていきます。あっという間でした。機械での種まきを見学したあと、横田農場のスタッフさんから手で蒔く方法を教えて頂き、参加者全員で種まき開始！これが今年の田んぼに植える苗となります。先ほど機械で見た工程を思い出しながらの手作業です。



← 土を平らにする作業が意外と難しい…。

種を均一に蒔くのも一苦労～。 →



時間がかかるかと思われましたが、今回多くの方が参加してくれ、さらに子どもたちがとってもよく頑張ってくれたため、一時間もかからずに苗箱40枚分の種まきが完了しました！自分たちで蒔いた種から育った苗で、田植えをするのが楽しみです！

田起こしとため池の泥上げ作業をしました！

前回の達人コースでア田んぼの田起こしを行ったので、今回はイ・ウ田んぼの田起こしを行いました。また、ウ田んぼの上にある、ため池に溜まった泥をあげる作業も行いました。上流からの水とともに泥も入ってきてしまうため、定期的に泥上げを行うことが必要そうです。



トキのえさ量調査 目標値は1㎡あたり4g

ウェザーバケットによると、この日は平均気温12.5℃、最高気温16.9℃と肌寒い日でした。そのためか、生きものたちも大人しかったです。

田んぼの場所	Aたんぼ	Dたんぼ	ウたんぼ	アたんぼ	平均重量
コガムシ		4匹			0.016g
ユスリカの幼虫	8匹	2匹	3匹	10匹	0.008g
イトミミズ	3匹	2匹			0.040g
コミズムシ			5匹		未測定
ミズムシ小				1匹	0.007g
ザリガニ 小		3匹			0.330g
サカマキガイ		1匹			0.060g
ヒメタニシ		1匹			4.505g
各たんぼの合計生物量	0.184g	6.291g	0.024g	0.087g	
今回の調査の平均値	1.6465g/㎡				

何か
いるかな
ー？



2014. 5. 25 達人田んぼの田植えをしました！



次週の田植えイベントを前に、一足早く達人田んぼの田植えを行いました！

達人田んぼに植える苗はマングツモチというもち米です。まず、田定規を使って線を引いていきます。この線が





うまく引けるかどうかで、苗をまっすぐ植えられるかどうかが決まっちゃいます。結構重くて難しいのですが、さすがは達人さん！きれいな線です。

← 引いた線に沿って、苗を植えていきます！

今年はさらに田んぼを拡張したため、収穫が多くなることを期待しています。すくすく育ちますように！

午後からは、畦の修復作業やア・ウ田んぼの代掻きを行いました。↓→



どれも田植え前には欠かせない重要な作業！達人さんたちのおかげで、どこの田んぼも田植えができる状態にしてイベントを迎えられそうです*



←今回の発見！

◎シュレーゲルアオガエルの卵塊です。あわあわ〜マシュマロみたいですね。わたがしかな？笑
カエルに成長して、出会えるのが楽しみです！

ウェザーバケットによると、この日は5月で一番暑い日！最高気温31.0℃という真夏日となりました。え！？5月ですよね？？という暑さの中、田んぼには100人以上もの参加者が集まってくれました。



←牛久市の市長さんがこの谷津田に駆けつけくださり、ご挨拶を頂きました！牛久市の掲げる、「スローシティのまちづくり」を目指すにおいて、この生きものと共存した谷津田再生の取組が重要なものであり、市としても協力していきたいとお話してくれました。

この田植えイベントのために、前日から達人さんたちが準備をしてくださっています。それぞれの田んぼの特徴にあわせ、田定規をひいたり、PPロープを張ったりしていて、準備はばっちり！いよいよ田植え開始です！



はじめにA(E)・B・C・Dの田んぼに分かれます。各田んぼには達人のリーダーがいて、初めての人でもわかるように、植え方を優しく指導＊

田んぼの中にはとても泥深く、歩くのがやっとなところも。普通の田んぼを想像していた参加者には、少し驚きがあったかもしれませんね。何回も田んぼに遊びに来ている子ども達は、あっという間に苗を一行植えてしまっていて、さすがだなーと感心しました。



午後からは、いくつかの班に分かれて作業をしました。引き続きア・イ・ウ田んぼの田植えを行うグループは、手馴れた大人たちがさくさくと田植えを進めてくれました！そんな大人たちが頑張る中、子ども達は生きもの捕りに夢中☆水路でザリガニやヤゴ、たくさんの水生昆虫を捕まえて、水槽の中にいれ観察していました！



もう一つのグループは、【トキの餌量調査】の体験をしました。レポートでもご紹介していますが、この調査は、トキが暮らせる谷津田を目指して、復田した田んぼで行っているものです。トキ1羽が年間に食べる餌量を約75kgとしたとき、この谷津田には一体どれくらいのトキの餌となる生き物がいるのでしょうか。このように1m四方の木枠を田んぼに沈め、その中にいる生き物を捕獲して、種類や量を調査しています。



	単位面積あたりの量	再生面積	トキのえさ量達成度
目標値	3.3 g/m ²	22,945 m ²	トキ1羽の餌量75kgを100%とした場合
再生1年目(2011年)	1.5 g/m ²	1,800 m ²	3.6%
再生2年目(2012年)	4.3 g/m ²	2,090 m ²	11.9%
再生3年目(2013年)	3.9 g/m ²	2,500 m ²	13.0%

過去に霞ヶ浦がトキの最大の生息地であったことから、100年後にトキの野生復帰を！という目標をたて、この田んぼ作りプロジェクトに取り組んでいます。

←トキのえさ量達成度は年々上がっています！100%になるよう、これからも生き物の住みやすい環境づく

りに努めながら谷津田の再生をしていきたいと思います。

おやつはフルーツポンチ！大好評でした！→

非常に厳しい暑さの中でしたが、頑張ってくださった参加者の皆様のおかげで、全ての田んぼに苗が植まりました。夏に向かってどんどん成長していくのが楽しみです！早速田んぼには水が張られて、トンボたちが嬉しそうにその上を飛んでいました。本当に、おつかれさまでしたー！



【午前中に田植えが終わった田んぼを前にして写真撮影！水が張られて生きものたちも喜んでもる！】

それでは、次回の田んぼでお会いしましょう。

アサザ基金 牧野真弓